

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	熊本保健科学大学
設置者名	学校法人 銀杏学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
保健科学部	医学検査学科	夜・通信	—	—	24	24	13	—
	看護学科	夜・通信			28	28	13	—
	リハビリテーション学科	夜・通信			64	64	13	—
(備考) リハビリテーション学科の内訳 理学療法学専攻 25 単位 / 生活機能療法学専攻 27 単位 / 言語聴覚学専攻 12 単位								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/syllabus.php ・Web ポータルシステム「Active Academy」：学生・教職員へIDを付与 <p>※電子シラバス「実務経験のある教員を含む科目」で当該科目の一覧を表示する。 さらに一覧から科目を指定すれば詳細を確認することができる。</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	熊本保健科学大学
設置者名	学校法人 銀杏学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

・ホームページ <https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/member.php>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部熊本県済生 会支部長	令和3年3 月19日より 令和5年3 月18日まで	組織運営体制及び 学園経営に対する チェック機能及び 提言
非常勤	熊本県医師会会長	令和3年3 月19日より 令和5年3 月18日まで	組織運営体制及び 学園経営に対する チェック機能及び 提言
(備考) 学外者6名のうち2名を記載			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	熊本保健科学大学
設置者名	学校法人 銀杏学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書(シラバス)の作成過程】 学務課より、次年度の科目責任担当教員へ作成を依頼する。これを受け、教員は「シラバスセルフチェックシート」を参照しながら記載事項の要件を満たすよう作成する。</p> <p>【授業計画書の作成・公表時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月下旬～2月中旬：シラバス作成(科目責任担当教員) ・2月中旬～3月下旬：シラバスチェック(教務委員)、修正(科目責任担当教員) ・4月～ : 公表 <p>※遠隔授業等の実施により、授業の内容・形態が当初の計画から変更した場合は、適宜学生に周知する。</p>	
授業計画書の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/syllabus.php ・Webポータルシステム「Active Academy」: 学生・教職員へIDを付与
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学修規程に基づき、シラバスに示す成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を行っている。

なお、科目の学修成果は、授業内容・形態に応じて、筆記試験、実技試験、レポート、授業への参加状況、実習記録などを用いて多面的に評価している。成績評価の方法は、当該科目の各評価手段の比率、個別到達目標ごとの評価比率をシラバスに示し、厳正に適用している。また、学外実習や「基礎セミナー」「卒業研究」をはじめとする一部の科目において、ルーブリック評価法を導入している。

※新型コロナウイルスの感染動向に伴う授業実施方法の変更等によって、成績評価の方法・基準を当初の予定から変更する場合は、適宜学生に周知する。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【GPA等の客観的な指標の具体的な内容(指標の算出方法など)】

科目の成績を一定の数値に換算し(下表参照)、その数値の平均を算出している。

	評点 (100点満点)	評価	GP	評価の説明	備考
合格	90点以上	AA	4	一般目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている	
	89点～80点	A	3	一般目標を十分に達成している	
	79点～70点	B	2	一般目標を達成している	
	69点～60点	C	1	一般目標を最低限度達成している	
	認定	N	対象外		他大学等において取得した単位を、本学の単位として認めた科目
不合格	59点以下	D	0	一般目標を達成していないのでさらに勉強が必要である	
	無資格	M	0		未履修(出席日数不足)

【客観的な指標の適切な実施状況】

各学生の履修科目の成績に基づき、上表のとおり、あらかじめ設定した算出方法によりGPAを算出している。

<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/img/files/disclosure/syugaku-4.seiseki202204.pdf ・ 学生便覧：学生へは入学時に配布 ・ Web ポータルシステム「Active Academy」：学生・教職員へ ID を付与
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【卒業の認定に関する方針の具体的な内容】 保健科学部卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー） 基本理念と教育目標・教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）に沿った授業科目を履修し、以下の能力や資質を身に付け、各学科・専攻所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「学士」の学位を授与します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 命の尊さを理解するとともに、自他の人格を尊重すること、人を思いやることができる 2. 保健・医療・福祉の専門職に必要な知識と技術を備え、多様な人々と連携協働することができる 3. 科学的な思考力と判断力を備えるとともに、人間と社会を取り巻く種々の問題を認識し、広い視野から主体的に課題探求及び問題解決ができる 4. 多様な価値観を尊重し、他者との豊かな信頼関係を築くコミュニケーションができる 5. 適切に情報を収集・活用して、母語及び国際的に通用する言語で自らの考えを表現し、伝えることができる <p>【卒業の認定に関する方針の適切な実施状況】 学則に則り、所定の授業科目を履修し、所定の単位を取得した者については、教授会の議を経て学長が卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/mission.php ・ 学生便覧：学生へは入学時に配布 ・ Web ポータルシステム「Active Academy」：学生・教職員へ ID を付与

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	熊本保健科学大学
設置者名	学校法人 銀杏学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/disclosure/
財産目録	ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/disclosure/
事業報告書	ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/disclosure/
監事による監査報告(書)	ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/disclosure/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 2020年度熊本保健科学大学事業計画 対象年度: 令和4年度)
公表方法: ホームページ(銀杏学園通誌「ぎんきょう」) https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/img/files/ginkyo/hp_ginkyo_no.42.pdf
中長期計画(名称: 対象年度:)
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/disclosure/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/accreditation.php
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保健科学部
教育研究上の目的 公表方法：ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/mission.php (概要) 1. 生命の尊厳と社会について洞察力を有し、自立できる人材を育てる 2. 広い視野に立ち、課題探求力と問題解決力を有する人材を育てる 3. 医療専門職と連携協働し、自己責任の果たせる人材を育てる 4. 多様な価値観を理解し、国際的な言語運用能力と情報技術をもつ人材を育てる
卒業の認定に関する方針 公表方法：ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/mission.php (概要) 基本理念と教育目標・教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)に沿った授業科目を履修し、以下の能力や資質を身に付け、各学科・専攻所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「学士」の学位を授与します 1. 命の尊さを理解するとともに、自他の人格を尊重すること、人を思いやることができる 2. 保健・医療・福祉の専門職に必要な知識と技術を備え、多様な人々と連携協働することができる 3. 科学的な思考力と判断力を備えるとともに、人間と社会を取り巻く種々の問題を認識し、広い視野から主体的に課題探求及び問題解決ができる 4. 多様な価値観を尊重し、他者との豊かな信頼関係を築くコミュニケーションができる 5. 適切に情報を収集・活用して、母語及び国際的に通用する言語で自らの考えを表現し、伝えることができる
教育課程の編成及び実施に関する方針 公表方法：ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/mission.php (概要) 本学が掲げる知識・技術・思慮・仁愛の四綱領と基本理念のもと、入学者受け入れ・選抜の方針(アドミッションポリシー)に基づいて入学した学生諸君が、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)で述べた力を有する人材となるよう、以下の方針に沿って教育課程を編成し、実施する。 ※以下、ホームページ参照
入学者の受入れに関する方針 公表方法：ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/mission.php

(概要)

- 総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校）、学校推薦型選抜（公募）、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜（前期日程）、大学入学共通テスト利用選抜（後期日程）、特別選抜（社会人）の七つの入試区分を設け、学力の3要素を多面的・総合的に評価し、多様な学生を評価する体制とする。
- 筆記試験により学力を把握し、調査書、推薦書、志願者調書、志望理由書、志願者評価書、個人面接、グループ面接、プレゼンテーション、小論文等により、医療技術者を目指す学生としての動機、意欲、適性（思いやり、コミュニケーション力、協調性、柔軟性等）を総合的に評価する。
- 卒業認定方針⑤で、「・・・母語及び国際的に通用する言語で自らの考えを表現し、伝えることができる」ことを挙げていることを反映して、総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校）、特別選抜（社会人）以外の入試区分では、英語を必須科目とする。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ

<https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/disclosure/organization.php>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
保健科学部	—	28人	30人	32人	2人	人	92人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			247人				247人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページ https://www.acoffice.jp/khsuhp/KgApp					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<ul style="list-style-type: none"> ・全学的に教育内容・方法等の改善を進めるため、FD委員会を設置しており、授業改善アンケートとFDセミナー（研修会）を実施している。 ・授業改善アンケートは、個々の授業科目についてWebポータルシステム(Active Academy)を用いて行っている。なお、「アンケート結果」及びアンケート結果を踏まえた「授業改善計画」を教職員と学生に公開している。 ・全教員参加を旨としたFDセミナーは毎年2回開催している（令和3年度は遠隔授業における著作物利用を含め2回開催した）。 							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保健科学部	340人	378人	111.2%	1,300人	1,445人	111.2%	人	人
合計	340人	378人	111.2%	1,300人	1,445人	111.2%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保健科学部	349人 (100%)	21人 (6.0%)	301人 (86.2%)	27人 (7.7%)
合計	349人 (100%)	21人 (6.0%)	301人 (86.2%)	27人 (7.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 熊本保健科学大学大学院、熊本保健科学大学助産別科、熊本大学病院、熊本赤十字病院、済生会熊本病院、熊本託麻台リハビリテーション病院、熊本機能病院				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
保健科学部	368人 (100%)	327人 (88.9%)	20人 (5.4%)	21人 (5.7%)	0人 (0%)
合計	368人 (100%)	327人 (88.9%)	20人 (5.4%)	21人 (5.7%)	0人 (0%)
(備考) 平成30(2018)年度入学生の状況					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

【授業計画書（シラバス）の作成過程】

学務課より、次年度の科目責任担当教員へ作成を依頼する。
これを受け、教員は「シラバスセルフチェックシート」を参照しながら記載事項の要件を満たすよう作成する。

【年間の授業計画】

全学科（全専攻）全学年の「授業暦」を作成し、セメスターごとに15週の授業に加え定期試験の日程を確保し、明示している。各授業科目については「シラバス」や「実習要項」に授業計画を記載している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

【学習の成果に係る評価】

学修規程に基づき、シラバスに示す成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を行っている。

【卒業の認定に関する方針の具体的な内容】

保健科学部卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）

基本理念と教育目標・教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）に沿った授業科目を履修し、以下の能力や資質を身に付け、各学科・専攻所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、「学士」の学位を授与します

1. 命の尊さを理解するとともに、自他の人格を尊重すること、人を思いやることができる
2. 保健・医療・福祉の専門職に必要な知識と技術を備え、多様な人々と連携協働することができる
3. 科学的な思考力と判断力を備えるとともに、人間と社会を取り巻く種々の問題を認識し、広い視野から主体的に課題探求及び問題解決ができる
4. 多様な価値観を尊重し、他者との豊かな信頼関係を築くコミュニケーションができる
5. 適切に情報を収集・活用して、母語及び国際的に通用する言語で自らの考えを表

現し、伝えることができる

【卒業の認定に関する方針の適切な実施状況】

学則に則り、所定の授業科目を履修し、所定の単位を取得した者については、教授会の議を経て学長が卒業を認定している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
保健科学部	医学検査学科	129 単位	有・無	48 単位
	看護学科	131 単位	有・無	48 単位
	リハビリテーション学科 (理学療法学専攻)	125 単位	有・無	48 単位
	リハビリテーション学科 (生活機能療法学専攻)	128 単位	有・無	48 単位
	リハビリテーション学科 (言語聴覚学専攻)	128 単位	有・無	48 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：学生便覧		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：Web ポータルシステム「Active Academy」		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ <https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/campus.php>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
保健 科学部	1～3年次	800,000円	200,000円	550,000円	実験実習料、施設設備資金、 教材充実料、厚生料 ※休学者の場合、授業料等は徴 収せず、在籍料：60,000円の み徴収する
	4年次	800,000円	200,000円	500,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 教務委員会、共通教育センター、学生委員会、国家試験対策委員会等とその担当課職員が、全学的に採用している少人数担任制度（本学では「スモールグループ担任制」と呼ぶ）のもとで各教員と連携しながら実施している。また、アカデミックスキル全般（ライティング、プレゼンテーション、パソコン活用）を支援するための「アカデミックスキルセンター」の設置、さらには先輩による学修・生活支援として「ピア・サポーター」制度なども取り入れている。なお、令和元年度より修学ポートフォリオの本格的な活用を始め、スモールグループ担任は、その内容をもとに学生と面談を行い、的確な修学・生活支援を行う。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 就職委員会、スモールグループ担任、就職・実習支援課等の連携体制、進学については、専門分野担当の教員やスモールグループ担任等による支援体制がそれぞれ機能している。また、令和元年度より修学ポートフォリオの本格的な活用を始め、スモールグループ担任は、その内容をもとに学生と面談を行い、的確な就職支援を行う。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 学生相談・修学サポートセンターにおいて、①学生相談部門、②修学支援部門、③支援学生育成部門の三つの部門を組織し、学生生活における様々な悩みや障害のある学生を含め、学修に困難を感じているすべての学生に対して、相談と支援・指導等を行い、メンタル面及びフィジカル面での学生の修学（環境）をサポートすることで、学生の学修力及び大学の学生支援力の向上に寄与している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/overview/disclosure/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F143310111371
学校名	熊本保健科学大学
設置者名	学校法人銀杏学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		160人	157人	-
内 訳	第Ⅰ区分	84人	85人	
	第Ⅱ区分	53人	45人	
	第Ⅲ区分	23人	27人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				172人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	-		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期		後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。